

業務用無線通信システムに関する調査検討会

開催趣旨

各種業務用の無線通信システムは、近距離通信で使用される簡易無線よりも広域な通信エリアをカバーし、また、MCA無線ほどの広範囲な通信エリアを必要としない中エリア規模の自営無線通信システムとして構築され、利用されています。このシステムは、災害等で公衆通信網等が被災やふくそうした場合において、有効な通信手段になることが期待されています。

簡易無線及びMCA無線等がデジタル化される中で、各種業務用無線通信システムにおいてもデジタル方式を導入すると、明瞭かつ秘話性の高い通信やデータ伝送等の高機能なサービスを提供することができるほか、周波数の効率的な使用が可能となります。

各種業務用無線通信システムをデジタル化する上では、より有用なシステムとなるよう、通信機能の拡充や、中継システムによる通信可能エリアの拡大等についても検討を進める必要があります。例えば、各種業務用無線通信システムで中継システムが利用できれば、北海道のように広大な農地、牧場、観光地でも、様々な応用が広がることが期待できます。

このような背景を踏まえ、本調査検討会では、各分野の専門家の皆様にお集まりいただき、自営無線として高機能かつ周波数利用効率に優れた各種業務用無線通信システムのデジタル通信方式に関する技術的条件等について調査検討を行います。